

名前：

インターネットは今、世界中で新しいメディアに成った。毎日、数万の資料がインターネットで流通している。そのスピードは非常に速いと思われる。ということ、インターネットの故に、人々は前よりもっと多くの知識を知っていることができるのみならず、資料を検索することも便利になった。指でクリックしたら、世界中で全てのことを知ることが可能である。インターネットはそんな利点がたくさんあるからこそ、最近、新聞や雑誌の代わりに、本を読むことが好きではない人の間に好まれている傾向がある。

そう言えば、インターネットはいつか新聞や雑誌を替わることに決まっているであろう。しかし、事実はそうではない。インターネットはどんなに便利にしても、新聞も雑誌もずっと存在しているのではないのでしょうか。だからといって、私はインターネットがあるけれども、新聞も雑誌も生活で必要なものだと思う。

まず、新聞や雑誌を読むことはインターネットで資料を見ることは全然違う。人は、本があるなら、詳しく読むことができる。その反面、インターネットを使う時、同じ内容でも人はただ見るのみである。何か読む時、私たちは見るだけでなく、同時に頭でその内容についてよく考えることがある。そして、私たちはその方法で新しい意識を生み出せる。インターネットを使ったら、私たちは新しいことを見るけれども、見るだけで考えなくては成長できないでしょう。いつもインターネットを使って、新聞や雑誌を読まなければ、人はいつかばかに成るおそれがある。

それに、全世界は六十億以上の人がいるのに、インターネットを使えない人も多い。その時、新聞も雑誌も重要性がある。新聞や雑誌がなければ、その人たちはどうしてニュースを知っているか？

だから、私はインターネットがとても便利けれども、新聞も雑誌も必要だと思う。

1800字